

平成29年度第1回鎌ヶ谷市史編さん審議会会議録（筆記要約）

- 1 開催日時平成29年6月29日（木） 13:30～15:15
- 2 開催場所鎌ヶ谷市立図書館3階 集会室
- 3 出席者 委員 下津谷達男会長、村田一二副会長、
横山謙次委員、小出達雄委員
事務局 皆川教育長、立野郷土資料館長（兼）学芸員、
藤井主事補（兼）学芸員
- 4 議題 以下のとおり

※傍聴者なし

1 開会

2 会長あいさつ

3 教育長あいさつ

会議録署名人の選出

→横山謙次委員・小出達雄委員を会議録署名人に選出した。

4 議事

(1)平成28年度市史編さん事業報告について

立野館長より資料1・2に基づき説明があった。

質疑

- 【村田委員】 それぞれの刊行物の寄贈部数について
- 【立野館長】 「市史」下巻（以下「下巻」という。）と「市史研究」第30号（以下「市史研究」という。）は約500冊、「鎌ヶ谷のあゆみ」（以下「あゆみ」という。）は約350冊である。
- 【下津谷委員】 「あゆみ」の印刷単価と価格設定について
- 【立野館長】 単価は約4,000円で、近隣の同種刊行物の価格を調べ、市民の方

に広く読んでいただきたいという観点から1,500円が妥当と判断し、決裁を得て設定した。

【村田委員】 市民としたら1,000円にしていたら、もっと売れて普及すると思う。

【横山委員】 数字がたくさんある表などは考慮した方がよかったと思う。

【小出委員】 「下巻」の記載内容のなかにも、「あゆみ」と同じように、わかりやすく、親しみやすくという精神が感じられた。

【立野館長】 「下巻」については、日本近・現代史全体とのかかわりのなかで、鎌ヶ谷がどうだったのかということを理解していただくために、章の冒頭にリード文をつけた。また、鎌ヶ谷の特色を示す独自のテーマとして、初富開墾、御猟場と御料地などといった内容も詳しく盛り込んだ。通史であるので、「あゆみ」とくらべると難しい記述もあるが、なるべくわかりやすい文章表現にさせていただいた。

→質疑の後、議事（1）は承認された。

(2)市史編さん事業の終了に関する報告について

立野館長より、資料3および別紙1・2に基づき報告と説明があった。

質疑

【下津谷委員】 市史編さん事業団が使用していた備品について

【立野館長】 団より一括して寄贈され、郷土資料館で使用することとなった。

→質疑の後、議事（2）は承認された。

(3)市史編さん事業収集資料の整理について

立野館長より、資料4に基づき説明があった。

質疑

【横山委員】 歴史的公文書の収蔵場所について

【立野館長】 現状では、書庫をはじめとして館内のいろいろなスペースに納めているが、限界に達してきている。文化・スポーツ課の埋蔵文化財も含めて、収蔵・整理・研究ができるスペースが確保できるよう努めたい。

【下津谷委員】 これから行っていく業務の優先順位について

【立野館長】 第一に市内所在の歴史資料、次に、歴史的公文書、写真の順になるかと思う。

【下津谷委員】 他の機関からの写真利用について

【立野館長】 刊行物や展示などに利用したいという申請がある。資料館の図録などに掲載しているものはすぐ対応できるが、多くは公開しているわけではないので、ケースバイケースで対応している。市史で撮影した写真も含めて、パソコンで検索できるようにデータベース化を進めていきたい。

【下津谷委員】 非常勤学芸員の身分について

【立野館長】 鎌ヶ谷市の非常勤職員である。

【下津谷委員】 非常勤職員の保険について

【立野館長】 週20時間を超える勤務の人は労働保険に加入する。

→質疑の後、(3)は承認された。

5 その他

(1)平成28年度企画展実績報告について

(2)平成29年度の郷土資料館展示について

立野館長より、資料5・6に基づき報告・説明があった。

(3)その他

6 閉会

以上会議の経過を記載し、相違ないことを証する。

平成 29 年 9 月 9 日

署名人 横山謙次

署名人 小出達雄